

令和4年度

学校関係者評価報告書

(中 間)

令和4年 9月27日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和4年度の学校運営や教育活動等につきましても、年度初めに全教職員に提示した要項に基づき、年間を通して評価を行うこととしており、中間の結果を令和4年9月20日に報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和3年9月26日に第1回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和4年 9月27日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
社会医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局次長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 令和4年 9月26日(月) 14:00~15:10

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和4年度自己点検・評価報告(中間)
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 川端委員長挨拶

今年度中間の学校自己評価をふまえ、特に学校経営に係る項目8に関連づけて集約されてくると思われるが、各委員の忌憚のない意見等をいただきたい。9/28開催の当法人運営会議にも委員会として提案できれば等の内容。

2) 事務局（学校長）挨拶

謝辞及び時候の挨拶。厳しい学校運営の改善に当たり、本委員会の評価及び意見を反映させたい。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

(1) 学校評価の内容、方法、根拠の説明 <事務局：教務部長>
授業評価の方法（一部PC利用）、教職員研修及び研究授業の実施内容の変更等を含め、本年度の要項について説明

(2) 令和3年度中間評価報告 <事務局：学校長>

- ・感染症拡大による教育活動等への影響
- ・職員体制の状況
- ・AO入学と関連づけての退学者の状況
- ・学校としての卒業生支援の状況
- ・学生募集活動関連
- ・各学科の改編関連
- ・創立40周年記念事業関連

※以上、評価項目に沿った報告内容を抜粋して記載

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載

(1) 川端委員 (項目1、2、3、9)

- ・評価3について、教職員のモチベーションや活気等も影響しているのでは。教育活動や学生指導等本来の業務に加え、学生募集関連の業務が負担になっていないか。

→ 事務局 : 特別講座や各広報活動等、労力の割には成果につながっていない。教育活動への影響もあると思われる。

(2) 坂口委員 (項目7、項目8)

- ・教員は各専門分野(介護は介護)に係る活動に専念するとともに、専門性を高め教育に反映すべき。広報担当者が、「人を集める専門職」としてスキルアップし、新しい視点で広報活動を展開してはどうか。

→ 事務局 : 広報に係る業務の中で、関連業者との情報交換や新しいツール等の提案も募集活動に反映させている。特に広報担当としての専門性に係る部分については検討していきたい。

(3) 牧野委員 (項目7、項目8)

- ・少子化、関連業界の過当競争、各学科に関する分野に対する関心の低さ、高卒は来ない、パンフレットを送っても見ないといった状況。視点を変えて、社会人を対象とした募集(改組改編含む)にシフト(年齢シフト、シルバーシフト)することも検討しては。早期退職者や向学心のある方を対象。夜間授業や関連施設でのアルバイト等も取り入れては。

(4) 川端委員 (項目10、項目7)

- ・ヤングケアラーの支援について検討しては。
- ・離島やへき地(遠隔地)を対象としたPRについて検討しては。

(5) 牧野委員、井畑委員 (項目3)

- ・医療機関では、サイバー対策やシステム管理上、SE等のIT関連業務に特化した職員が求められている。関連するカリキュラム(資格を含む)を導入してはどうか。
- ・社会福祉協議会でも、システム課を設置するなど、同様の取組が進められている。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や意見、第2部(教育課程編成委員会)をふまえ、教育内容や財務状況の改善に活かしていただきたい。

※ [学修成果] [学生支援] [教育環境]について直接的な意見等なかったが、教育課程編成委員会で取り上げられた内容もあり、関連づけて評価できる。

以上